



それぞれの功績を称え、受賞者全員で記念撮影

【受賞者一覧（敬称略）】※受賞理由一部省略、所属は受賞当時です

個人

足達 陽菜（窪川中3年生）
第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 高知県選抜
田邊 萌々花（大正中3年生）
第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 高知県選抜

伊賀 三由紀（四万十町河内）
第68回全日本ボディビルディング選手権大会 ウィメンズ
ボディシェイプ部門 優勝

八木 歩澄（窪川小6年生）
第40回高知県小学生陸上競技大会 女子走幅跳 第1位
本山 愛結（田野々小6年生）
2024年度高知県小学校陸上競技年間ランキング 女子走高跳 第1位
森田 怜夢（四万十高2年生）
第39回ジャパン学生チューデントジャズフェスティバル2024 ナイス・プレイヤー賞（ドラム）

「教育委員会表彰」授与式

四万十町教育委員会では、町の教育・芸術・文化・技芸・スポーツなどの振興発展に貢献し、その功績が他の模範として推奨できる個人または団体について、毎年度、表彰を行っています。

令和6年度は、3月25日に四万十町役場で授与式が行われ、個人7名と団体5組が表彰されました。

功労賞 **平野 琴葉**（窪川高3年生）
第44回全国高校生読書体験記コンクール 高知県優良賞

団体

奨励賞 **FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA**（四万十高・大正中）
第39回ジャパン学生チューデントジャズフェスティバル2024 優秀賞

功績賞 **窪川中学校・大正中学校ソフトボール部**
第46回全国中学校ソフトボール大会 準優勝
仁井田米コメッツ
第38回四国小学生男子ソフトボール大会 準優勝

功労賞 **仁井田小学校**
今年度で24年目を迎えたアルミ缶回収活動や、その収益を活用した町内福祉施設への介護用具の寄贈など社会事業に尽力したもの。
影野小学校5年生
令和6年度小・中学校デジタル作品コンクール 魅力発信部門 優秀賞

「少年剣道大会」開催

「第33回B&G財団会長杯四万十町少年剣道大会」が3月2日、四万十町窪川B&G海洋センターで開催されました。大会には町内外から13チーム67名が参加し、町内からは2チーム16名の剣士が参加し、熱戦が繰り広げられました。町内剣士の入賞結果は次のとおりです。

【大会結果（敬称略）】 団体戦 **準優勝** 窪川少年剣道クラブ

個人戦 小学5・6年生男子の部	第3位 高橋 成（窪川少年剣道クラブ）
準優勝 伊藤 海南人（とおわ剣道教室）	個人戦 小学5・6年生女子の部
第3位 土居 祿（窪川少年剣道クラブ）	準優勝 住吉 紗由紀（窪川少年剣道クラブ）

「子ども会新人ソフトボール大会」開催

「令和6年度四万十町子ども会新人ソフトボール大会」が3月9日、窪川運動場多目的広場で開催されました。5年生以下の選手で構成されたチームで争うこの大会には、町内外から6チームが参加。2ゾーンに分かれて予選を行い、それぞれの1位となった「仁井田米コメッツ」と「東津野・田野タスポーツ少年団」による決勝戦が行われました。決勝は、両チーム一歩も譲らない試合展開となりましたが、打力で勝る「東津野・田野タスポーツ少年団」が着実に得点を重ね、見事優勝を飾りました。



優勝を喜ぶ東津野・田野タスポーツ少年団の皆さん

多様な活動の整備から地域活性化へ

本町でも「生徒がやりたい種目を選べない」「専門的な指導を受けられない」といった状況があり、部活動の地域連携、地域移行を含めた部活動改革を進めています。

そこで大きな課題となっているのが、指導者や受け皿となる団体の確保です。町内にも各種目で専門的な技術指導が可能な地域の住民や受け皿となる団体は存在しています。ただ、そういった方々も放課後など部活動の時間帯での指導が難しいことも。また、保護者にとっては、活動場所までの移動に伴う負担が大きいなどの事情もあり、調整に時間を要しているところ です。

教育委員会では、引き続き地域の実情に応じて外部指導員の登用や指導できる人材の確保に努めています。

まずは休日の部活動から地域へ移行し、子どもたちの多様な体験機会を確保する中で、子どもたちと地域、学校が強く結びつく環境の整備を目指していきます。



四万十町教育委員会
みつあき
山脇 光章 教育長

広がる可能性、
地域と育む子どもたちの成長

少しずつ動き始めた部活動の地域移行。部活動が地域へ移行されることは、子どもたちのスポーツ、文化芸術など多様な体験の場を確保することにもつながります。また、子どもたちは安心して競技が続けられ、競技種目を自由に選択できる可能性も広がります。地域を交えた部活動で学べることは、決して専門技術だけではありません。今回取材した地域の指導者の皆さんは、挨拶や返事、言葉遣いなど礼儀作法についても指導していました。

「この子たちが社会に出て困らないように」「周りから応援される子になってもらいたいから」。そんな地域の大人たちの想いが、部活動の指導を通して子どもたちに伝えられています。

新たな部活動のカタチは、まだ完成形ではありません。部活動を通して、地域と子どもたちとのつながりがさらに深まれば、子どもたちの成長、地域の活力へとつながっていくのではないのでしょうか。

【お問い合わせ先】 学校教育課 ☎22-2594